

11月8日は「いい歯の日」

お口の健康を意識されていますか。健康を守るには、まずお口のお手入れが大事です。歯みがきや歯科受診をされている方も多いと思いますが、「むし歯の無い健康なお口を維持するのは難しい」と感じている方も多いのではないのでしょうか。

そんな中、3歳児健診でよい歯とされた親子が集まって6月4日に開催された「平成28年度親と子のよい歯のコンクール（俱知安保健所大会）」において、優秀賞2組の中に町内から愛澤朔君はるなさん親子が選ばれました。

優秀賞受賞おめでとうございます！



▲朔(さく)くん(右)、はるなさん、明(あき)ちゃん(左)

いい歯の秘訣を聞きました
お口の健康を維持する秘訣を教えてください。

「息子は、夜しっかりと歯みがきをしています。最初は歯みがきを嫌がったのですが、歯みがきの必要性を言葉でわかるように説明して、毎

日必ずさせました。今では嫌がらずに毎日の歯みがきが習慣になっています。私は歯科医院で歯の大事さを実感していたので、自分の歯も大事にしています。」

歯みがきなどお口の清掃は、一生必要なことです。ご家族皆さんで歯科健診を受けて、いつまでも美味しく食べ続けられるように正しいお手入れを学んで習慣化しませんか。町では、歯科医師と歯科衛生士がお口の健康維持を応援しています。

むし歯予防教室

- ・ 歯科健診と歯科相談。希望者にはフッ素塗布
 - ・ 毎月2回（今月15日・22日）
 - ※「暮らしのカレンダー」参照
 - ・ 受付時間／13時～14時15分
 - ・ 持ち物／歯ブラシ、母子手帳
 - ・ 対象者／歯が生えた未就学児
 - ・ 料金／無料
- ☆健診と同時開催ですが、健診対象以外のお子さんも今まで通りご利用いただけます

☎ 町福祉医療課保健指導係

☎ 23-0500

地域の応援者「認知症サポーター」

人生最期まで自分らしく、健康でいたいと誰もが望むことですが、老後の不安の一つに「認知症」と答える人も多いのではないのでしょうか。

認知症高齢者は、現在約500万人と推計され、予備軍を入れるとさらにその数は増します。高齢化が進む中、国では認知症対策に重点を置き、「オレンジプラン」として様々取り組んでいるところですが、その一つとして平成16年より「認知症サポーターの養成」が進められています。

認知症を発症すると、周りの人との関係が損なわれたり、家族が疲れきって共倒れしてしまうことが少なくありませんが、周囲の理解や配慮があれば穏やかに暮らしていくことは可能で、そのためには、地域の中での支え合いが不可欠となってきます。

「認知症サポーター」とは、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る地域の「応援者」です。

認知症は「怖い」「なりたくない」と思いがちですが、誰もがなりうる可能性がある病気として、正しい知識や適切な対応方法を知っておくことが必要で、認知症サポーター養成講座が全国各地で開催さ

れています。

認知症サポーターになるには、認知症に関する知識や対応方法について講座の受講が必要で（60分～90分程度）、終了後にシボルグズの「オレンジリング」をお渡ししています。

受講の対象者は、町内会や老人クラブなどの住民組織や団体、販売や宅配業などの企業、警察や消防、金融機関や小中高等学校の生徒や先生など誰でも対象になります。

サポーターの数は、昨年末に全国で約700万人となり、俱知安町においても約300人が養成講座を受講していますが、まだまだたくさんの応援者が必要です。

養成講座の開催については町が窓口となり、講師のキャラバン・メイトを随時派遣しています。

☎ 町福祉医療課地域包括支援センター
☎ 23-0100

- こどものひろば - Hop! Step! Jump!!

元顧問とOB40名が大集合! 俱知安高校吹奏楽局第30回記念定期演奏会

9月18日(日)、俱知安高校吹奏楽局(三条あゆみ局長、荒木雅幸顧問)の第30回記念定期演奏会が町文化福祉センター大ホールにて開かれました。

第1部、局員17名による「そよ風のマーチ」で本定期演奏会は、華々しく開演しました。

第2部は、元局員(OB)との合同演奏でした。開催にあたっては元顧問唐澤隆博先生と世代の違うOBたちが全国各地から駆けつけ、OB・現顧問荒木先生・元顧問唐澤先生の指揮による3曲を演奏し、記念すべき30回目の定期演奏会を盛り上げました。



▲総勢57名 OBとの合同演奏(第2部)

思うように練習時間が取れず、感覚を取り戻すのに苦労したと言うOBの一人は、「夢のような時間はあつという間に終わってしまいました。技術はなかなか現役のように戻りませんが、気分はすっかり高校生に

戻って楽しい時間を過ごすことができました」と話していました。

第3部のステージは、座って演奏するだけではなく、ダンスしながら演奏するなどさまざまな工夫がされていきました。ステージの演出は、お客さんを楽しませるために生徒たちが考えたものです。また、進行も生徒たちが自ら行いました。演歌やアニメの曲などポピュラーな曲が演奏されると、お客さんは手拍子をしてリ体を揺らしながら音楽を楽しんでいました。

俱知安高校吹奏楽局に代々受け継がれているスローガン「感謝の気持ちを音で表そう」。日頃支えてくれている方や応援してくれている方への感謝の気持ちが伝わる素晴らしい演奏会となりました。



▲ユニークな衣装で演奏する局員(第3部)

子育て支援センターだより



★12月の広場のお知らせ

あいあい広場(0歳) 12月7日(水)
きらきら広場(1歳) 12月14日(水)
のびのび広場(2・3歳) 12月21日(水)

☆どの広場もクリスマス飾りを制作します

■申込/11月14日(月)9時30分~

★第10回子育て講座

■日時/12月15日(木)10時~11時30分

■内容/ヨガ

■場所/保健福祉会館

■持ち物/汗拭きタオル、ヨガマット(バスタオル)、飲み物(2人分)

■申込/11月21日(月)9時30分~

*11月10日(木)は子育て講座開催のため午前は閉館とします

*11月から利用時間を以下のとおり変更します

子育て支援センター(南2東1) ☎22-0419

開館時間 9時30分~12時、13時~16時

(11月~3月)

(正午~13時は玩具などの消毒のため一時閉館)

休館日 日曜日、祝日、年末年始

高速道路体験

バスツアー2016



このバスツアーは将来高速道路の利用者となる子どもたちに、バスの乗車体験から高速道路の利便性を感じてもらふことや、工事現場の見学を通して土木技術への関心を持ってもらうことなどを目的に実施されており、今年9月24日(土)に町内の小学校6年生11名とくっちゃんワンダーキッズ(町内の小学5年生対象)から22名が参加しました。

この日は小樽市朝里の高速道路工事の現場で説明を受け、工事が完了したばかりのトンネルや、地上約40mの高さにある工事中の高速道路に工事用エレベーターで昇り見学した後、バスに乗車し、朝里IC~大谷地IC間における一般道と高速道路の距離や時間を比較することで、その利便性を体感しました。

私たちの町に高速道路ICができる頃、参加した子どもたちも運転免許を取得し、今回見学した道路の利用者になっているのではないのでしょうか。

